

2017年4月19日開催第1回観桜会の報告

去る4月19日（土）の午後2時半より第1回の観桜会が21名もの参加を得て宮戸島で行われました。午後2時半より約30分間、奥松島縄文村歴史資料館にてサクラの識別のレクチャーを東北大学植物園の米倉浩司先生から頂きました。宮戸島にはヤマザクラの他、カスミザクラ、そして焚き木用に導入されたオオシマザクラの3種があり、それぞれ、花や葉の形や大きさなどで区別できることを学んだのですが、一番の問題はこれらが島の中でお互いが交雑して自然雑種が多数あることです。そこで苗一本一本を見て、「ヤマザクラ」（ほぼ100%ヤマザクラと言えるもの）、「だいたいヤマザクラ」（だいたいヤマザクラだが他の遺伝子が混じっているのが分かるもの）、「ヤマザクラ×〇〇ザクラ」（ヤマザクラとカスミザクラあるいはオオシマザクラの遺伝子が半分位ずつ入っているもの）、というような区分をすることにしました。こういったこみ入った問題は「百聞は一見にしかず」ということで、「現物」を見てと言うことで外に出ました。



資料館での桜の識別のレクチャー



資料館前の4本がヤマザクラの判定にみんなで拍手！

まずは歴史資料館の入り口の左右に植えられた4本です。一本は花を数輪着けていました。この4本はヤマザクラ（+だいたいヤマザクラ、以下省略）と言う事でめでたしめでたしでした。



ウーーム、これはヤマザクラだねえ（トレイル公園）



室浜の花を着けたヤマザクラ

次いでウォーキングトレイル公園です。東屋の3本はヤマザクラだったのですが、山際に一列に並べて植えた苗は、大きいものは花を着けているのですが、真っ白く大きな花だったり（オオシマザクラと言うこと）で、なんと全33本のうちヤマザクラはたったの14本（4割！）で、カスミザクラが16本、オオシマザクラが3本という始末でした。これには参加者一同「がっかり」。

気を取り直して室浜団地に向かいました。ここでも何本かが花を着けています。全32本のうちヤマザクラが19本（6割！）、カスミザクラ（+だいたいカスミザクラ、以下省略）が4本、オオシマザクラ（+だいたいオオシマザクラ、以下省略）が9本という結果でした。そして史跡公園内の見晴らしの良い「東丘陵」の14本のうちヤマザクラが11本（8割！）、カスミザクラが1本、ヤマザクラ×オオシマザクラが2本でした。史跡公園の上の東屋脇にこの春の苗掘りの際に幹が折れ掛かった苗を植えたのですが、2本の内1本はヤマザクラ、もう1本はヤマザクラ×オオシマザクラ、と言う結果でした。

まとめますと、これまでに定植した苗全88本中ヤマザクラは49本、カスミザクラ21本、オオシマザクラ12本、ヤマザクラ×オオシマザクラ3本という事になりました。どうしてこうゆうことになったのかよくよく考えてみたら思い当たる節がありました。ヤマザクラプロジェクトが走り出した初年度、2012年6月17、18日に第1回目のヤマザクラタネ採り、苗掘り採りが行われました。今年採ったタネが発芽するのは来年、と言う事で植樹までの時間短縮と言うことで、史跡公園の「東丘陵」に生えている親木の下に発生した実生苗を探して掘り採り、苗として育てたのです。そして第1回の植樹祭が2014年3月9日。ウォーキングトレイル公園と史跡公園「東丘陵」に28本植えましたが、これらはすべて掘り採った苗を育てたものでした。その後、枯れたものの補植と新たに室浜団地への植栽を行ってきて、第4回植樹祭（2016年3月）からは大高森登山口下のヤマザクラの「親木」から取った種から作った苗が植樹祭に使われるようになりました。



史跡公園「東丘陵」での苗掘り（2013年）



大高森登山口下でのタネ採り（2012年）

このように見てきますと、どうも実生を掘り採って育てた苗はヤマザクラ、カスミザクラ、オオシマザクラの3種が同じように混じっていたようで、小さいときは区別が付かないのでそのまま育ててきましたが、大きくなってみるとヤマザクラで無いものの方が多かった、と言う事ようです。この春に植えた史跡公園「東丘陵」ではヤマザクラが8割、と言う事なのは大高森登山口下のヤマザクラの「親木」から取った種から育て

た苗だから、と言うわけです。そういう意味では今後植える苗はほとんどがヤマザクラと言って良いもので（もちろん、オオシマザクラやカスミザクラの花粉が掛かって出来たタネも混じるのでヤマザクラが100%とはならない）「安心」ですが、ヤマザクラでは無いと判定された木についてはヤマザクラに置き換える必要があり、今後の作業の一つとなります。

さて、そこまで作業が進んでいよいよ「花見の宴」なのですが、この日は天気はいいものの非常に風が強くて、とても屋外（桜の木の下）ではやれない、と言う事で交流館で行いました。桜が無くては寂しいので、米倉先生の指導の下、ヤマザクラ、カスミザクラ、オオシマザクラ、そしてそれらの雑種の花が綺麗な枝を採ってきて、皆で一杯飲みながらヤマザクラの萼がどうの、カスミザクラの葉の鋸歯がどうの、オオシマザクラの花の付き方はどうこう、ともっぱら桜談義を楽しみました。



花見の宴でもレクチャーが

盃に花を浮かべて...優雅ですねえ~

翌20日は時間のある人11人の参加を得て、プランタで大きくなった苗の大きいポットへの移し替えなどを7月1日の苗植え祭りに先行して行いました。成長が楽しみです。



7月の苗植え祭りに先行して苗植え替え作業



植え替えを待つタネをまいて2年目の苗